

ごあいさつ

コスモ石油エコカード基金はスタートから3年目を迎え、約75,000名の会員の皆様よりご支持頂けるまでに成長しました。皆様方にはここに厚く御礼申し上げますとともに一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

本基金活動「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトでは、地球温暖化防止をメインテーマとして温暖化の影響を真っ先に受ける発展途上国への支援、そして日本では次世代に向けた取り組みとして環境教育への支援を展開しております。これらプロジェクトは持続可能な社会の実現に向けた活動であり、「ずっと地球で暮らそう。」というフレーズの実現に向けて会員の皆様、地域社会、NPOやNGOの方々と一緒に取り組んでいます。私は、この連携がとても大切であると思っており、プロジェクトサイトを訪れる度に強く実感致します。

私は、2004年2月に熱帯雨林保全プロジェクトサイトの一つであるソロモン諸島マライタ州フィユ村を定地型有機農業普及の核となるパーマカルチャーセンター(詳細は後述)の開所式に出席するために訪れました。このセンター建設に際して村の人たちは自分たちの仕事のあと集まり、重機も使わずスコップで3haに及ぶ土地を切り拓いていったそうです。その苦勞の大きさは言うまでもありませんが、村の人たちが一丸となってセンターを作り上げたことも非常に重要な意味を持っていると思います。

今後、プロジェクトが何らかの苦難に直面したとしても村全体で作りに上げた経験からその苦難を皆で切り抜けることができるだろうと思い、人の力の大きさを実感しました。

このプロジェクトを始め「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトを進めていく中では、会員の皆様を始め、地域社会、NPOやNGO、政府の方々など人と人の連携を強めるよう努め、かつ環境問題だけでなくそれに繋がる人口問題や食糧問題そして貧困などにも焦点を当てながら持続可能な社会の早期実現に向けて地道に取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続き、ご理解ご協力の程よろしく申し上げます。



コスモ石油エコカード基金

理事長 森川 桂造